



## 名前 阿部 若菜

### シーン設定

コロナ禍で室内でできる事の需要が高まり流行した「チャンキーニット毛糸」を使ってつくる「マンドウバッグ」。そのマンドウバッグからインスピレーションを受けてかいたのがこのデザイン画です。コロナ禍だったからこそ生まれ流行したので室内遊びの変化だと思いました。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

ポイントは靴と一体化している所です。そしてチャンキーニットの編み込みに、ハート型にとおしたカラー付きニットもポイントです。ウエストラインから靴までがっていて、その日の気分の柄のパンツをくみあわせられます。

#### 「どのように」

くつと一体化しているニットをあまりみないと思ったのと、チャンキーニットのワンピースなので気分によって簡単にカラー付きニットでのハート 星 などデザインは無限です。

### 素材

綿、ポリエステル

### アピールポイント

チャンキーニットでつくることでムダになってしまう捨てる生地もなくなり必要なニットのみで、その人に合わせてムダなくつくれる所です。



# 名前 江口 楓

## シーン設定

コロナが第5類に分類され、人々はマスクを外したり、旅行に行き始めたりと、コロナ前のような生活に戻りつつあります。今までのような生活に戻る一方、SDGsなどの環境保護に対する関心は、以前より高まったように見受けられます。

## デザインのポイント

### 「どこに」

国内旅行、海外旅行共に着て行けるようなアウター。

### 「どのように」

着物の、型紙が長方形でできており、端切れがほとんどでない構造から着想を得ました。ドロストリングにすることで丈感を調節でき、老若男女誰でも着られるデザインにしました。

## 素材

日暮里にある民族柄の生地、もしくは再生繊維でプリントして柄を作ります。

## アピールポイント

様々な民族の柄を取り入れ、コロナがおさまった明るい未来を表現しました。また、先述した通り、着物から着想しているため、端切れがほとんど出ず、環境にも優しいデザインになっています。

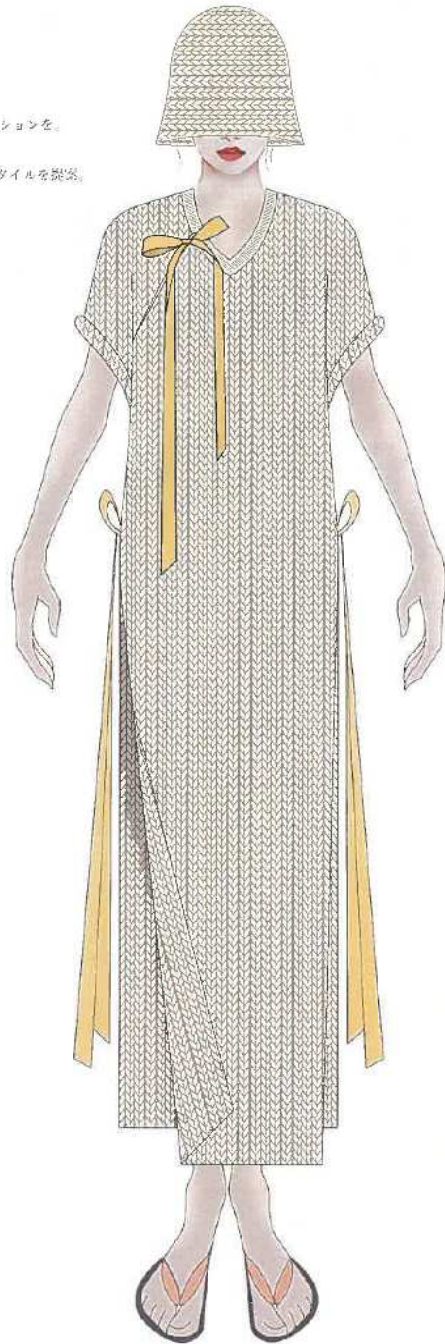
## Concept

季節の変わり目に。

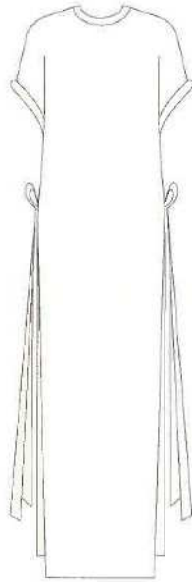
シーズンレスで1年中楽しめるファッションを。

メリノウールを使用した。

シーズンレスでタイムレスなカーディガンスタイルを提案。



BS



## 名前 大本 航

### シーン設定

新型コロナウイルス（アフターコロナ）による影響は、消費者ニーズに変化を与え安く短命な服よりも、長く着られる服が求められるようになりました。消費者のニーズの変化として特に注目すべき点は、ソーシャルグッド、エフォートレス、シーズンレス、タイムレスでありサステナブルであることが重要です。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

季節の変わり目に。シーズンレスで1年中楽しめるファッションを。

#### 「どのように」

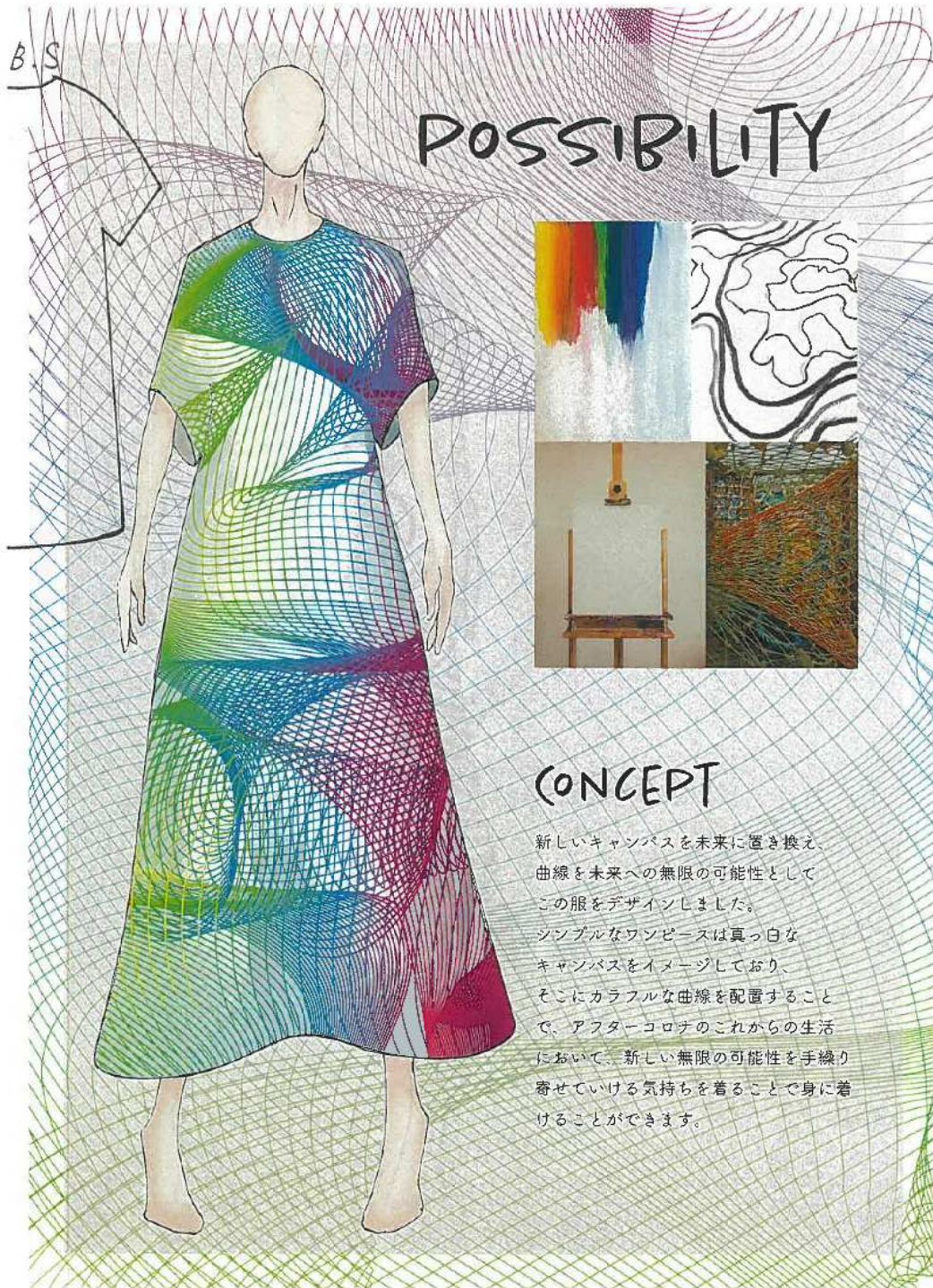
メリノウールを使用した、シーズンレスでタイムレスなカーディガンスタイルを提案。

### 素材

サマーウール、シルク

### アピールポイント

メリノウールは、素肌に身に着けても柔らかく、耐久性、生来の汎用性と機能性の点が優れ自然に還るのでサステナブルです。



POSSIBILITY

## CONCEPT

新しいキャンバスを未来に置き換え、  
 曲線を未来への無限の可能性として  
 この服をデザインしました。  
 シンプルなワンピースは真っ白な  
 キャンバスをイメージしており、  
 そこにカラフルな曲線を配置すること  
 で、アフターコロナのこれからの生活  
 において、新しい無限の可能性を手繰り  
 寄せていける気持ちを着ることで身に着  
 けることができます。

名前 岡村 優志

## シーン設定

アフターコロナと言われつつある昨今、AIの急速な発展に伴って考え方、価値観は変わりつつあります。私はこの新しい時代の中で自身のあり方、立場模索していくべきではないかと考えています。

## デザインのポイント

「どこに」

ワンピースとその上に描かれている曲線

「どのように」

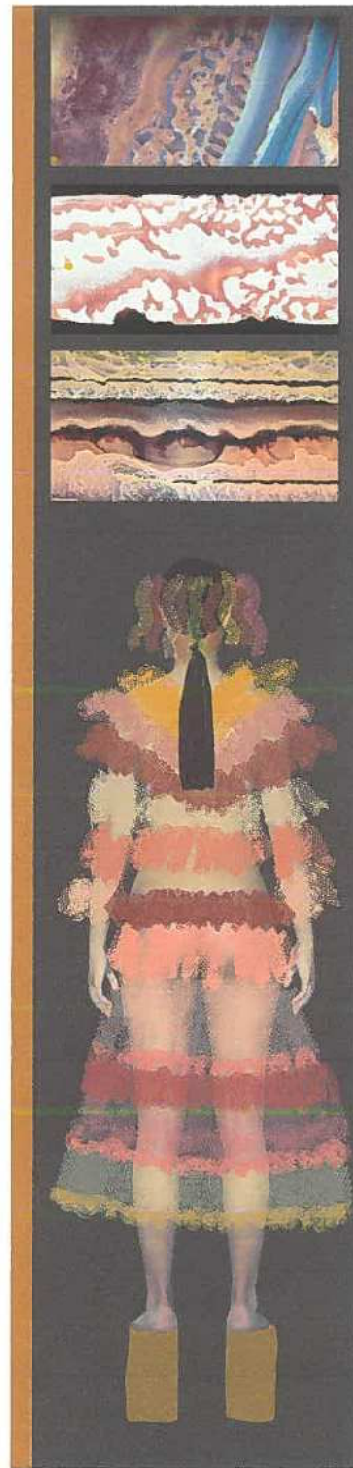
ワンピースは真っ白いキャンバス(これからの未来)  
 曲線はその先にある無数の可能性を表現しています。

## 素材

Food textile 素材、ポリエステル

## アピールポイント

生地はフードロスの問題を解決するために作られた Food textile の生地を利用しています。



## 名前 岡保 杏奈

### シーン設定

コロナで自宅から出られない日々が続いた時、家でリラックスできるカジュアルな服で過ごしました。毎日運動不足解消のために散歩に出かける時間を大切に過ごすようになっていました。そんな散歩の時にすぐ着られて、ワクワクできるような服を集めるようになりました。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

私がコロナが流行し始めたの頃に暮らしていたのは、デンマークの小さな島でした。そこで海辺を散歩するのが好きで化石や貝等が浜辺に落ちているのを探したりするときに着るワンピースとしてイメージしてます。

#### 「どのように」

中にジーンズやTシャツ等を着ていても、出かけるときに1枚上から着るだけで楽しい気分になれるワンピースをイメージしてます。

### 素材

チュール素材、アクリル、ナイロン、ビーズ等

### アピールポイント

デジタルツールを使って(CADやCLO)を使用することにより、想定ができるので少ない素材や工場や店舗で余ったデッドストック等で制作することを想定しています。

# Non Mulesing Wool



ウール用の羊は皮膚のシワが糞尿を吸い込みウジ虫が湧く為、ミュールジングという残虐な行為がされている。ミュールジングとは羊の尻尾や肛門周りの皮膚を、麻酔もせず園芸バサミやナイフで剥ぎ取ること。この作品には、羊の痛みを伴わないノンミュールジングウールを使い、アニマルフレンドリーな考え方を当たり前にしていきたい。



名前 奥平 乃彩

シーン設定

家にいることが増えた今、着心地の良い服が求められている。

デザインのポイント

「どこに」

全てニットで作り、肌触りや着心地の良いものにする。

「どのように」

着ていて、硬くない、柔らかさでほっと落ち着けるような服に。

素材

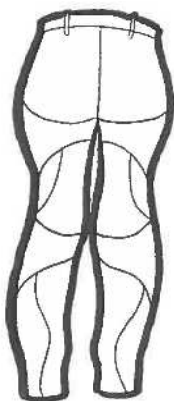
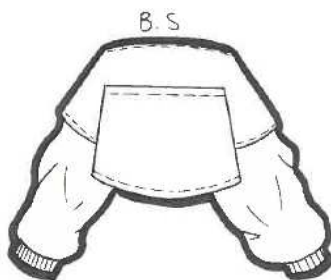
ノンミュールジングウール

アピールポイント

羊の痛みを伴わないノンミュールジングウールを使い、アニマルフレンドリーな社会に。成型編みなのでムダが出ない。



地球の質感と水の質感から着想を得てデザインしました。袖のオーバーサイズデザインと全体的なデザイン性も高めています。



## 名前 何 珮雪

### シーン設定

人類の歴史を振り返ると、疾病は飢饉や戦争と並ぶ大災害であり、平和な時代に生まれた私たちにとって遠いもののように思われていましたが、この三年間は急に身近なものでした。自然では私たちの進歩は微々たるものです。

### デザインのポイント

「どこに」  
胸とズボン

### 「どのように」

全体的な未来感、デザインの上下タイトなシルエットです。

### 素材

PU 革生地

### アピールポイント

新型コロナ



— concept —

SDGsの観点から海洋プラスチック問題に焦点を当て、使用されずに捨てられるだけになったレジ袋を衣服に落とし込む。

レジ袋を繋ぎ合わせて作った糸で編み込む。袋本来の色をバランスよく組み合わせて、見た目良くエコな装いを提案。



名前 上村 思乃

シーン設定

SDGsの観点から、海洋プラスチック問題に焦点を当て、使用されずに捨てられるだけになったレジ袋を衣服に落とし込む。

デザインのポイント

「どこに」

服全体に

「どのように」

レジ袋を繋ぎ合わせて作った糸で編み込む。袋本来の色をバランス良く組み合わせて見た目良くエコな装いを提案。

素材

レジ袋、再生ポリエステル

アピールポイント

家庭に溢れて使い切れずに捨てられるレジ袋を衣服に。



# Catalyst

## 名前 川口 智加 シーン設定

新型コロナウイルス感染症等を経験し、様々な人々と交流する喜びを実感する今の時代に海外旅行で日本に来て桜の写真撮影している人々をみて改めて日本の素敵などころを考えるきっかけになった。日本ならではのあり世界の人々を魅了している桜を表現した作品を作り、日常で忘れがちな美しいものに気づくきっかけになりたい。

海外旅行で日本に来て桜の写真を撮影している人々をみて改めて日本の素敵などころを考えるきっかけになった。日本ならではのあり世界の人々を魅了している桜を表現した作品を作り、日常で忘れがちな美しいものに気づくきっかけになりたい。

Detail



リサイクルポリエステルを使用したチュールを使い、桜を表現したオリジナルの生地を制作

Inspiration



## デザインのポイント 「どこに」

普段着として着ることが多いパーカーのシルエット。

## 「どのように」

普段着というイメージがあるパーカーに、チュールを使い、桜を表現したオリジナルの生地を合わせることで、日常で忘れがちな美しいものに気づくきっかけになりたいという思いを込めた。

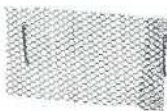
## 素材

チュール、リサイクルポリエステルオーガンジー、テンセル

## アピールポイント

環境に優しい素材を使用するだけでなく製作した洋服を実際にたくさん長く着ることが地球環境への配慮につながると考えているため日常で気軽に着ることができるデザインにした。

Textile

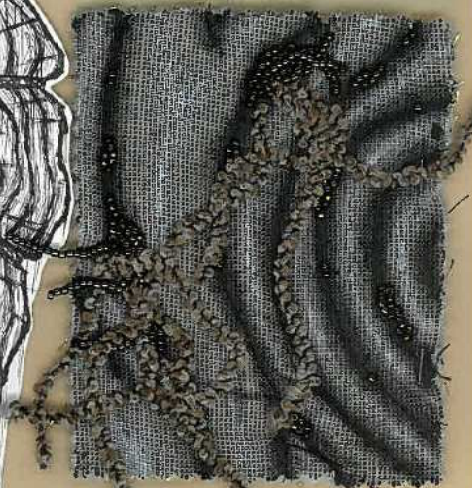


Back style



# Living Wood

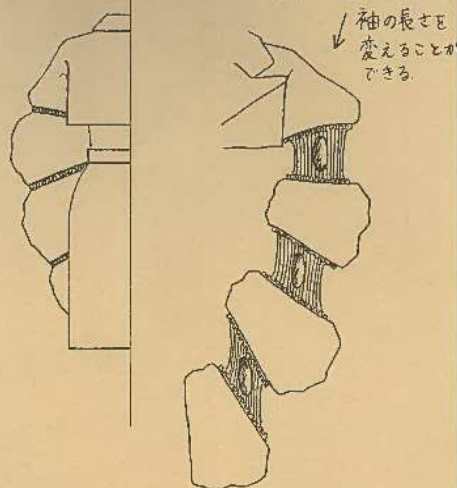
酸素というものは私たちが生きる上で必要なものである。その酸素(空気)は、このコロナ禍で私たちに感染を広めた。それにより、綺麗な空気が吸えた日々がとても大切に思えた。その綺麗な空気の元は、大半が木から生成されていることから、私は木を大切にしたいと思った。その気持ちを木を身にまとして表現する。



B. S.

ファスナーを開くと

↓  
袖の長さも  
変えることが  
できる。



名前 カンセラ サユリ

## シーン設定

クリーンな空気を吸うことができるような、あたり前のことほど、とても価値があり大切にすると感じた。それを、この服を着ることで思い出したい。

## デザインのポイント

「どこに」

全体に。

「どのように」

酸素の元が木であることを思い出すために、木をモチーフにしたオリジナルのキルティングを取り入れた。

## 素材

コットン

## アピールポイント

木の質感や特徴などをリアルに表現できる技法を取り入れた。(キルティングにペンで陰影をつけることで立体感が出て、服に酸素が運ばれているイメージに。)

## concept

環境に配慮したプリントの技法、  
昇華転写を用いて屋内でも快適に過ごす事ができ、  
屋外にも着て出かける事ができる、  
シーンレスなデザインを提案。

## textile



花柄をプリントした生地の上に  
花柄の刺繍をします。

## B.S



## 名前 木林 恵万

### シーン設定

自然災害や環境破壊の要因にならない様な再生や  
自然由来の素材使いに価値を見出す変化があった。シ  
ーンレスなファッションスタイルを求める価値観の  
変化があった。

### デザインのポイント

「どこに」

柄とシルエット

「どのように」

柄は屋内外関係なく着用できる鮮やかな花の柄を  
用いて表現。

### 素材

ポリエステル

### アピールポイント

昇華転写のように水を使用しないプリントや自然  
由来の染料を使用した地球環境に配慮した素材でア  
レンジ。

## 名前 栗田 詩桜

### シーン設定

コロナ前は新しいお洋服を買うことが楽しくて好きだったけど、コロナ禍に入り新しいお洋服じゃなくてリサイクルされた古着から可愛いお洋服を見つけることが楽しくて好きになりました。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

ワンピースとレッグウォーマーで全身に表現しました。

#### 「どのように」

コロナで縛りつけられていた時を表現したかったので布を糸でしばって表現していてコロナから少しずつ解放されている様子をカラフルな色合いと所々で解れている様子で再現しました。

### 素材

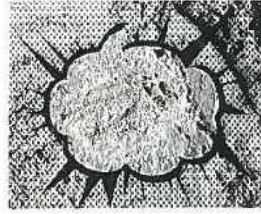
色々な素材の布（綿、サテン、チュール、麻、ウールなど） 刺繍糸

### アピールポイント

余っている布や切れ端をメインに使おうと思っているのでリサイクルできてSDGsができます。



好景気



名前 越川 誠也

シーン設定

コロナパンデミックや戦争などにより不景気に落ち込んでいる現在、景色が安定していた時代に憧れを持つようになった好景気を身近に感じるためにポップアートを用いて現代的にデザインした。

デザインのポイント

「どこに」

素材、プリント、シルエット

「どのように」

ダイナミックなシルエットで好景気を表現。ポップアートを彷彿させるオリジナルプリント生地、再生ポリエステルを使用する事で、サスティナブルに配慮するモダニティを尊重した。

素材

再生ポリエステル

アピールポイント

ポップアートのテーマである大量生産、大量消費ができるくらい(気持ちだけです)の景気を目指して、現況を乗り越える!

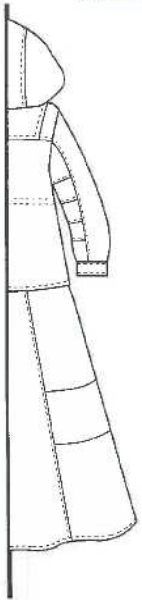
# protect

コロナの規制緩和が行われても周りの視線を気にしてマスクを外せないという日本人に根付いた特有の感覚。外見（色）を周囲の環境に合わせ、外敵の視線から自身を守る。

カメレオンの体色変化で外敵から身を守るということから、M-65 ジャケットとパンツをベースにデザイン。皮膚表層と深層2種類あり深層が断熱の役割を果たしていることから、アウターの内側に着脱可能なキルトのアイテムを。



B,S



名前 坂井 甫歌

## シーン設定

コロナの規制緩和が行われたが、周りの視線を気にしてマスクを外したくても外せない人もいる現状。

## デザインのポイント

### 「どこに」

衿、フード、アウターの内側、全体。

### 「どのように」

周りの視線が気にならない様に大きめの衿とフードをデザインし、衿はスタンドカラーで口元を隠している。フードは衿に収納可能で、保湿性と機能性を持たせた。

## 素材

リサイクルポリエステルプリント

## アピールポイント

着脱可能なキルトを使用し、日常的に着るためM65をベースとした機能性を持ち、昇華転写で水を不使用にしたデザイン。



## 名前 佐藤 彩乃

### シーン設定

コロナウイルスが収束しそうな今、外交的で日本はせっかくいい文化や製品があるのに輸入に頼りきりだったというところに目を向け、日本の織物文化や、編み物の温かさを配慮した自己生産できるようなアウトドアウェアを提案

### デザインのポイント

「どこに」「どのように」

From Trash Bags to Timeless Blooms は、サステナビリティと美しさの融合を称えるものとして考えました。この革新的なコレクションでは、廃棄された布が新たな命を吹き込まれ、繊細な糸に生まれ変わり、芸術的に織り上げられ、見事な花の傑作が生まれています。オーガンジーやシフォンのゴミ袋を再利用して作られた花びらは、創造性と環境への配慮が調和して、幽玄なエレガンスを醸し出しています。

### 素材

古着や、リサイクルデニム、オーガニックコットン、オーガンジー、リサイクルポリエステル

### アピールポイント

環境に配慮した素材や、加工のためとてもサステナブルで、周りから愛される以上に自然にも愛される服にした点です。

From Trash Bags to Timeless Blooms "は、サステナビリティと美しさの融合を称えるものとして考えました。この革新的なコレクションでは、廃棄された布が新たな命を吹き込まれ、繊細な糸に生まれ変わり、芸術的に織り上げられ、見事な花の傑作が生まれています。オーガンジーやシフォンのゴミ袋を再利用して作られた花びらは、創造性と環境への配慮が調和して、幽玄なエレガンスを醸し出しています。

## 名前 佐藤 日和

### シーン設定

コロナ禍で外出ができず、お家時間が増えたことで自分と向き合う時間も増え自分を大切にするマインドが強くなった気がします。それはファッションにおいても同じで自分の個性・マインドを大切にするようになりました。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

自分が一番落ちつけるところへ。全体的に大きいシルエットにすることで、体も気持ちも緩ませることで、自分を大切にできる環境を服から生み出す。

#### 「どのように」

素材にリブを使い緩みを表現し、ガンパッチを編み物にすることで全体の柔らかさを出しています。また、カラーリングを安静色であることで、リラックス効果を高めます。

### 素材

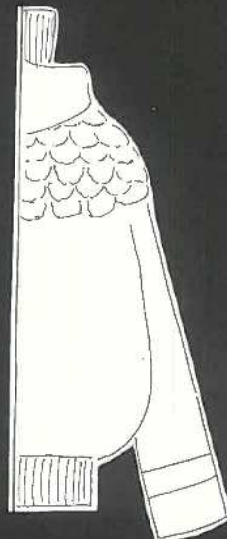
綿、ポリエステル、アクリル

### アピールポイント

アウトドアジャケットブームに合わせ、アウトドアジャケットを彷彿とさせるようなデザインにしました。

mind

使用している柄は、ヘナタトゥーから着想を得ている。  
タトゥーは未だ良い印象を持たれないけれど、自己を表現するために周りの目を気にせず、行うそれにはその人決意やmindが見取れる。そこにリスペクトを持った。





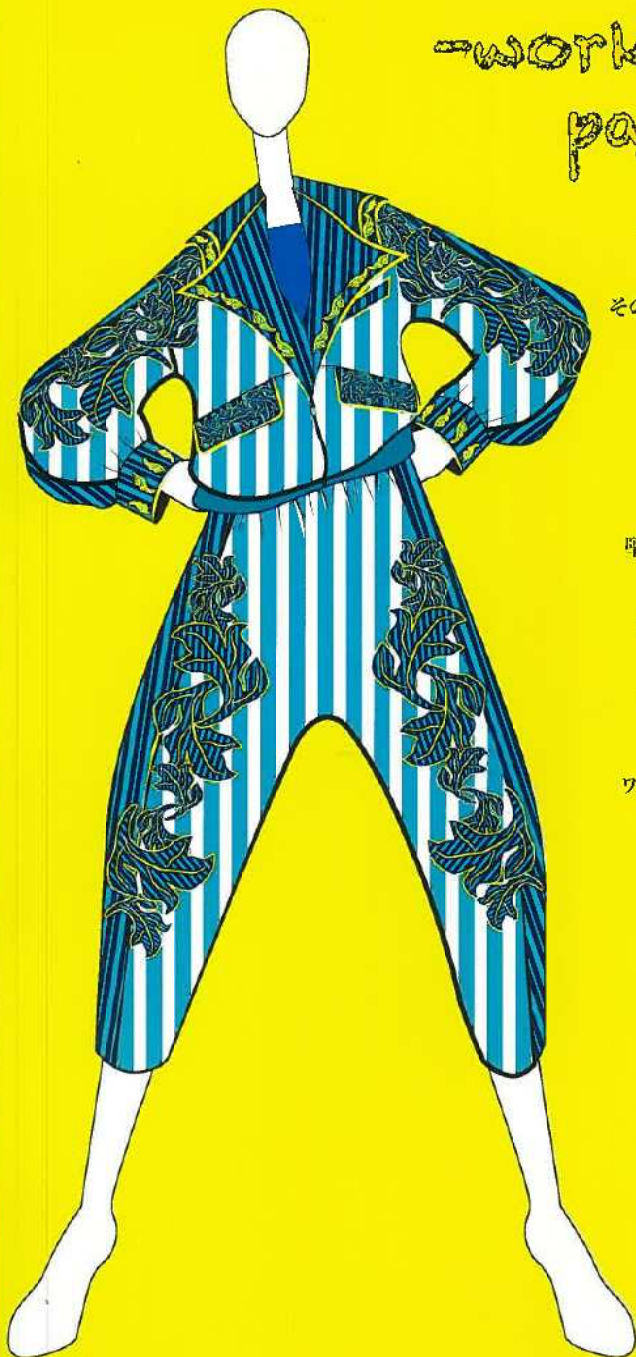
## -working pajamas-

コロナウイルス感染症の影響により私たちのライフスタイルは大きく変化。思いもよらなかった生活を強いられ、苦しい日々は続いたが、その過程から生まれた「ニューノーマル」は、これからの時代を変革するためのきっかけになると考えた。

そこで今回私は、コロナ禍で普及した「在宅ワーク」に着目。従来のワークシーンにおいて、堅苦しいイメージを持っていたスーツに、「在宅シーン」求められる機能や要素を加えることで時代を変革するデザインに挑戦。

「画面映え」や「室内での動きやすさ」にまでフォーカスされた開放的かつ自由に華やかなワーキングルームウェアを提案する。

B・S



## 名前 佐野 想

### シーン設定

コロナウイルス感染症の影響により、私達のライフスタイルは大きく変化。突然思いもよらなかった生活を強いられて、苦しい日々は続いたが、「リモートワーク」の様に新しく生活に根付いた「ニューノーマル」は、これからの時代・ファッションを変革するきっかけとなる。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

ルームウェアを基盤としたシルエット、ディテール、素材感に。

#### 「どのように」

オフィシャルウェアのイメージ要素を（ラベル、柄、ポケットなど）をミックスし、室内でも着られる動きやすさや、画面映えしながら（オフィス）ワークウェアとしては、甘くなりすぎないシーンレスな衣装を提案する。

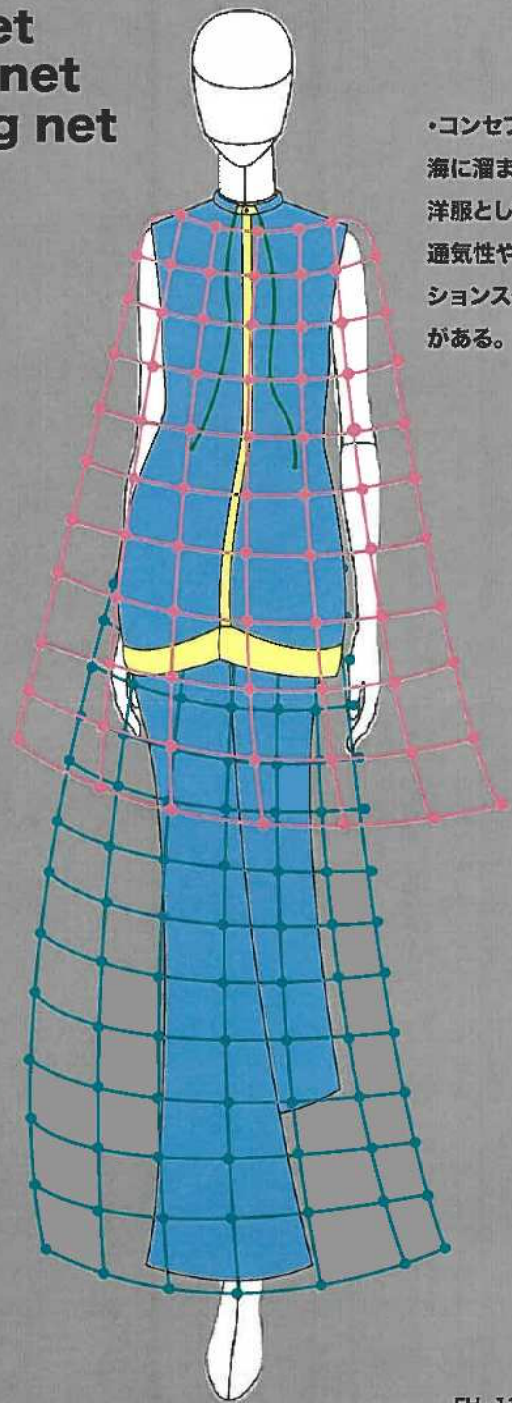
### 素材

ジャージ、ストレッチ素材など

### アピールポイント

コロナ禍を経て、「屋内と屋外」「オフィシャルとプライベート」が曖昧になった今、そんな様々なシーンにも対応できるデザイン、仕様、機能に挑戦した。

fishing net  
fishing net  
fishing net



・コンセプト  
海に溜まった漁網をイメージし  
洋服として表現しました。  
通気性や個性的デザインのファ  
ッションスタイルを求める価値観  
がある。

・素材  
漁網、ポリエステル

FH-13b-261-13 小林 T 清水喜斗

## 名前 清水 喜斗 シーン設定

海に溜まった漁網をイメージし洋服として表現し、  
通気性や個性的デザインのファッションを求める価  
値観がある。

### デザインのポイント 「どこに」 ワンピースに

### 「どのように」 漁網をイメージした

### 素材 ポリエステル

### アピールポイント 漁網をイメージしたワンピース



テーマ「CLEAR」

澄んだ空気、クリアに晴れ渡った空の下  
お出かけを楽しめる今の爽やかな気持ちを  
イメージしてデザインしました。

B.S.

## 名前 清水 桃子

### シーン設定

触れるもの、身につけるものに対し、抗菌、抗ウイルスできるものを好むようになった。

### デザインのポイント

「どこに」 テラスカフェや野外。

日光は当たると生地を重ねる部分で変わる色の濃淡や、風が吹くたび揺れる袖もとで、清涼感を感じられるようなデザインにしました。

### 「どのように」

艶やかなポリエステルサテン（抗菌、防臭加工された）と、きらめきのあるスパークルオーガンジー、この2種類の素材をばらつかせながら重ねています。

### 素材

ポリエステルサテン、スパークルオーガンジー

### アピールポイント

家の中で着た時と、外で着た時の服の色味や見え方が違うことを考えて外の光を浴びながら出歩く姿がいに美しく映るよう「揺れ」と「輝き」を意識してデザインしました。

## 溶けて広がる

コロナ禍、人と人との間に一定の距離がありどこか硬派だった人間関係が今年に入り少しずつ柔らかさのある本来の人との関わり方に移り変わっていく様子を表現した。



## 名前 清水 佑華

### シーン設定

コロナ禍、人と人が距離的にも心理的にも一定の距離があり、無機質なものだったような気がします。しかし2023年は形式的ではないより動的な人間関係に変化していくと思います。人との距離が近くなり、心の触れ合いが起こり許し合ったり、受け入れあったりといった柔らかさのある本来の人との関わり方に移り変わっていくと思います。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

上記のシーン設定を“岩や氷の間を流れる水流”として表現しました。コロナ禍、無機質でどこか硬派だった人間関係(岩や氷)が今年に入り少しずつ溶けていき徐々に動き出し広がっていく様子を表現しました。

#### 「どのように」

岩や氷の部分は硬さを表現するためにハリのある生地です。立体的に組み合わせました。水流はひだを寄せた生地を使って、上半身の岩や氷が溶けて水になり、下に向かって流れ広がっていくイメージでデザインしました。

### 素材

岩・水の部分はウエストポイントなど、硬さのある素材を使用し、水流の部分はシフォンやクレープなど、柔らかな素材を使用したいです。

### アピールポイント

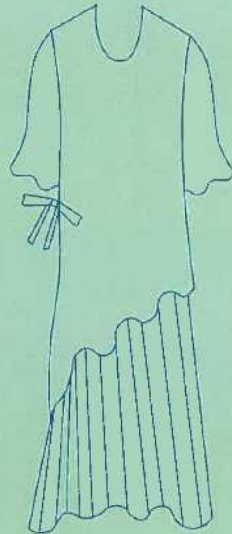
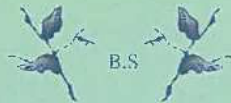
服に使用するには小さすぎて使えないような残布を組み合わせることで、布のロスが減らしていきたいです。

## dry flower



ドライフラワーの様に姿形を変化させながらも、愛される衣服を提案します。

素材：リサイクルポリエステル



名前 末崎 聡美

### シーン設定

家の中でもお洒落を楽しむ衣服が生まれた。気心地が良く、ゆとりのあるデザインが増えた。環境に配慮した生地が多く見受けられる様になった。

### デザインのポイント

「どこに」

ワンピース、スカート

「どのように」

頭から被るだけで着用出来る様になっている。プリーツスカートにすることで、綺麗なスタイルになり、家でも外でもお洒落が楽しめる様なデザインにした。

### 素材

リサイクルポリエステル

### アピールポイント

衣服を再生利用しやすくするために、付属品をなるべく使用しないデザインにした。

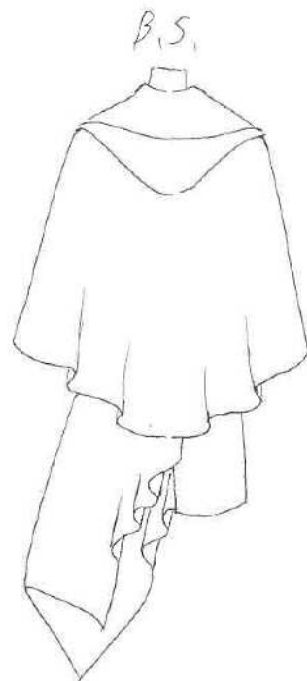
# Journey

コロナを経て、至るところで規制が無くなってきた。  
今まで行きづらかった旅行に行く人も増えたんじゃないかと思う。  
その変化から旅をテーマに異素材を組み合わせた服を提案。  
異国の地の旅を想像し、エスニック柄やフリンジをデザインに  
取り入れた。



ポケット製作例

小さいパーツ同士の組み合わせもある  
ので、柄生地やデニムの残布、古着な  
どからパーツをとることができると思  
えサステナブルにも配慮できる。



名前 鷹野原 しおり

## シーン設定

至るところの規制がなくなって、今まで行きづらか  
った旅行に行く人が増えた。旅行に行けるような動き  
やすく機能的でデザイン性のある服が必要とされて  
いる。

## デザインのポイント

「どこに」

ポンチョとパンツに

「どのように」

柄や色、質感の違う素材同士を組み合わせ、旅のワ  
クワク、楽しい気持ちを表現。

## 素材

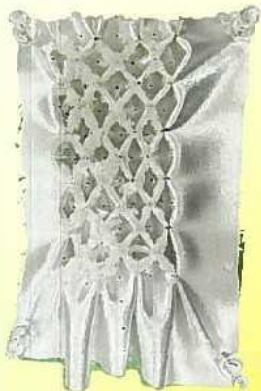
ニット、ウール、デニム、ポリエステル、レザー、  
ボア

## アピールポイント

柄生地やデニムの残布、古着などを再利用する点。  
動きやすいようにゆったりめなシルエットにした点。

Detail

# Be reborn again

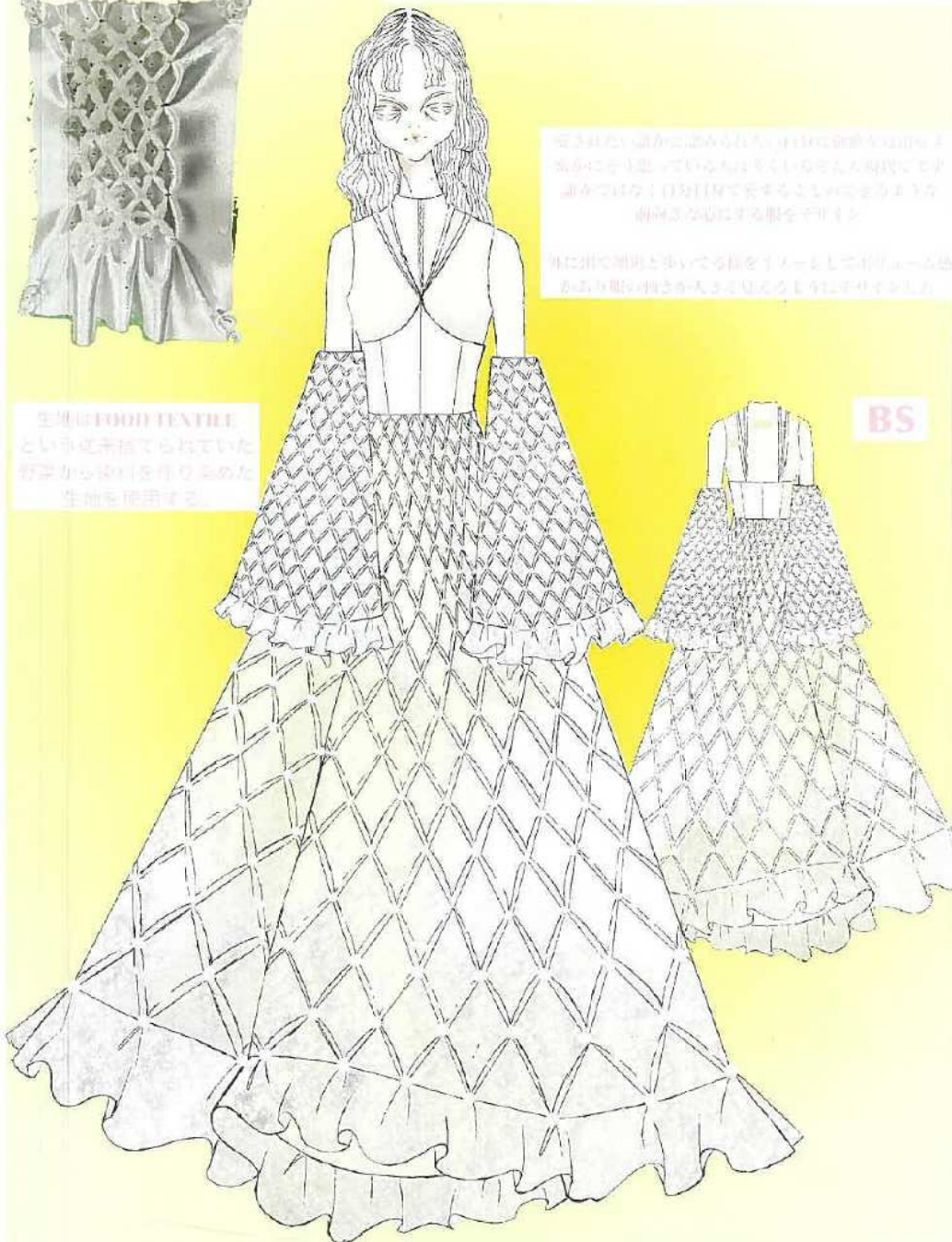


生地はFOOD TEXTILE  
という廃棄素材から作られた  
生地を使用する。

変身したい、誰かに認められたい、自分の個性を表現したい  
誰かに受け取られている感じがしたい、自分の個性を表現したい  
誰かに受け取られている感じがしたい、自分の個性を表現したい

何かに受け取られている感じがしたい、自分の個性を表現したい

BS



名前 高橋 藍奈

## シーン設定

コロナ禍で外出もなかなか出来ずずっと部屋着でいたり  
少しだらしない格好でいる事が多かったように思います。  
すると色々な感覚が鈍くなりだした。だからこそ改めてオ  
シャレして外出することが素敵な事だと気づけた。

## デザインのポイント

### 「どこに」

コンセプトの Be reborn again とは生まれ変わるとい  
う意味でワンピースを大きくフレアにする事で歩いた時に  
動きが出、存在感を出すことで新しい自分に自信を持って  
いる様を表現した。

### 「どのように」

さらにテクニックでスモッキングを使用することで細か  
な所まで気を配り美しく洗練された姿を表現した。

## 素材

綿、レース、パール

## アピールポイント

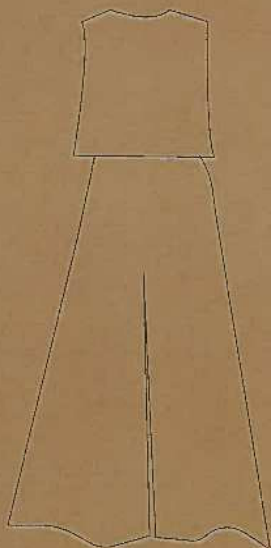
FOOD TEXTILE という廃棄食材を染料に加工し  
染めた生地を使用します。

# Vitality

幅広い年齢層で着られる花柄に生命力の強いガウラとガウラに似ていると言われる蝶を使用。強く長く着られる衣服を提案。



BS



名前 高山 実恵

## シーン設定

短サイクルの廃棄につながらない様な、長く着用できるタイムレスなファッションを欲する価値観の変化があった。

## デザインのポイント

「どこに」

衣服の柄

「どのように」

柄をどの年代でも好まれる着られる花柄にし、花はガウラという生命力の強い花を使用、そして蝶で強く長く着られる服になるような柄にしました。

## 素材

再生繊維ポリエステル

## アピールポイント

昇華転写のように水を使用しないプリントや自然由来の染料を使用した。地球環境に配慮した素材でデザイン性も兼ね備えたアレンジ。



**Diversity.**



**名前 田中 敦稀**

**シーン設定**

コロナウイルスによるおうち時間で、インターネットや自分と向き合う時間が増えた。その中でLGBTQなどのセクシャリティの多様性や自分の在り方について考える時間が増えた。

**デザインのポイント**

**「どこに」**

人間の性の多様性と海の中の多様な生物の世界を掛け合わせた。そのためベースの服はメンズライクな漁師服をモチーフにし、その至る所に海藻や熱帯魚をイメージしたカラフルな花を咲かせる。

**「どのように」**

咲かせる花には、様々な素材や色のものを使用し、ギャザーを寄せ、そこに女性らしさを演出させる。メンズライクな漁師服を多様な生地で作ったレディースライクな花を1つのコーディネートにまとめることで多様性を表現する。

**素材**

綿、ポリエステル、デニム、オーガージー、サテン

**アピールポイント**

染色はせず、生地本来の色味を活かす。また、着なくなった服などを使用することで、環境に配慮しつつ、新しいものを作り出す。

## 名前 田中 アリス

### シーン設定

アフターコロナといわれる時代の中で、私の中で前身する気持ちとあの時の辛い経験を忘れない気持ちが両立しています。でもそれは「忘れられない」のではなく忘れる必要はなく「今後の人生の経験に活かしていける経験を忘れない」事が大切だと再考し、ファッションと結びつきたいと考えました。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

沢山の紙くずには様々な色や太さがあります。明るい柔らかい素材の糸はアフターコロナの明るい社会を、黒色や暗色の糸や紐は、コロナの教訓や出来事を表しています。これらで構成された生地で作りました。

#### 「どのように」

布串を裁断したり縫製した際に出る糸くずを水溶性の接着芯を使い挟み込みステッチをした後に洗い溶かすことで糸くずから生地をつくりだします。ステッチも模様としてデザインできます。

### 素材

様々な種類の糸、コットン etc

### アピールポイント

捨てられはずの糸を使用したことによる地球環境への配慮




hair wear:  Tops:  skirt:  belt: 

1枚生地



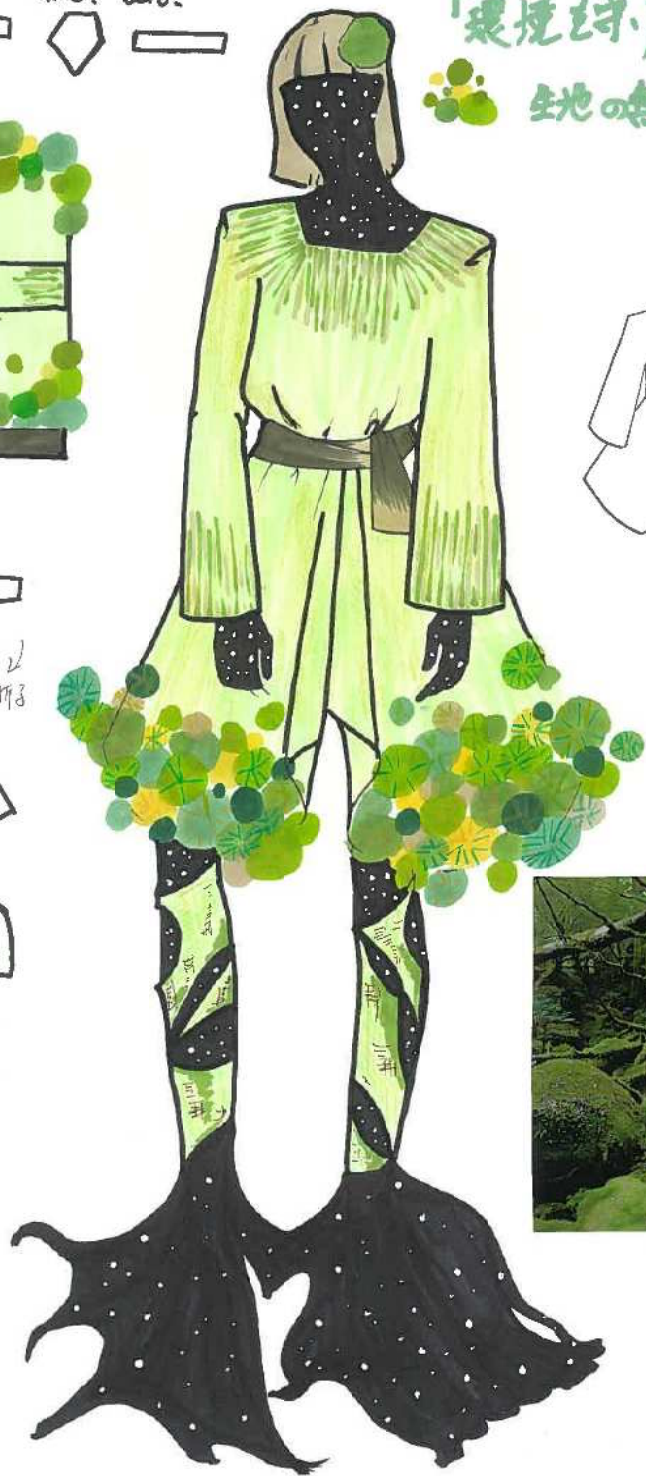
「環境を守り、  
生地が無駄を減らす」

Tops: 

折り



skirt:



## 名前 趙 文天 シーン設定

現在、世界のファッション業界では環境汚染や資源の浪費問題が注目されている。将来的には持続可能な問題についてどのようにアパレル産業を改善するかが重要な議題となっている。

### デザインのポイント

「どこに」

パターンから「ゼロ」浪費

「どのように」

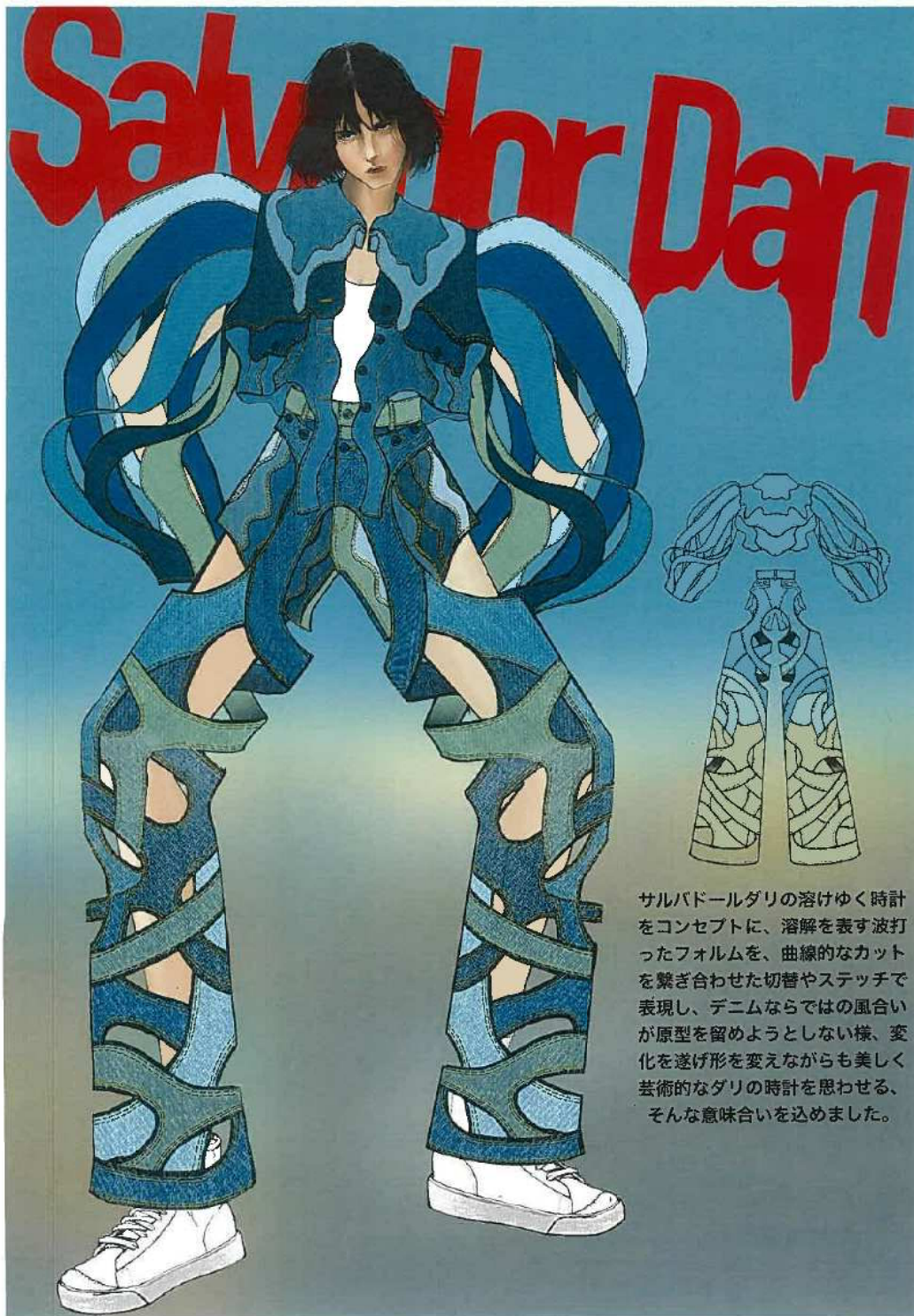
上着とスカートは裁断する時、1枚の大きい短形の生地の上で、いくつかの異なる形に裁断して、完璧に全体の生地を利用しました。

### 素材

ウール、ニット

### アピールポイント

環境を守り、生地が無駄を減らす。



サルバドルダリの溶けゆく時計をコンセプトに、溶解を表す波打ったフォルムを、曲線的なカットを繋ぎ合わせた切替やステッチで表現し、デニムならではの風合いが原型を留めようとする様、変化を遂げ形を変えながらも美しく芸術的なダリの時計を思わせる、そんな意味合いを込めました。

## 名前 常川 遼太

### シーン設定

新型コロナウイルスの感染拡大により、外出規制やマスク着用をはじめとした感染対策が余儀なくされ、それに伴った社会情勢の動きにより衣食住の優先順位に変化が現れました。外出の需要低下により衣服への支出額は大幅に減ったものの規制緩和後は久々の外出に合わせファッションに楽しみを覚え世間はファッションへの関心、注目を高めていき今に至っています。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

フォーマルではない外出先、及び自分のファッションを表現できる場へ向けた服

#### 「どのように」

シンプルなカジュアルウェアにふと飽きてしまった日に、カジュアルなタウンウェアでありながらも他に類を見ない切替えによるシルエットが人目を引く、歩くアートのようにファッションを体現させる服。

### 素材

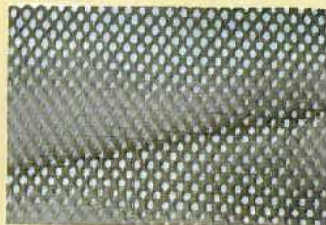
デニム

### アピールポイント

色の異なる古着のデニムパンツや使えなくなったデニムのハギレなどを再利用することで色合い変化やオールドデニムに味が活きるデニムでこそ可能な環境に優しいサーキュラーデザインとなっています。



+



## 名前 鄭 信盈

### シーン設定

マスク着用が自由になり少しずつ 1 人 1 人の個性がでてきたと思います。周りの目を気にしてとれない人も中にはいるし、堂々ととる人や、まだつけている人など 1 人 1 人の意思が出始めてきたと思います。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

服全体のデザインを華やかな色合いにしました。カラフルな色を使用して迷彩柄に表現しています。赤は勇気を黄は希望を青は未来を意味する色です。周りと同じにしようとする意思を迷彩柄で表現しています。

#### 「どのように」

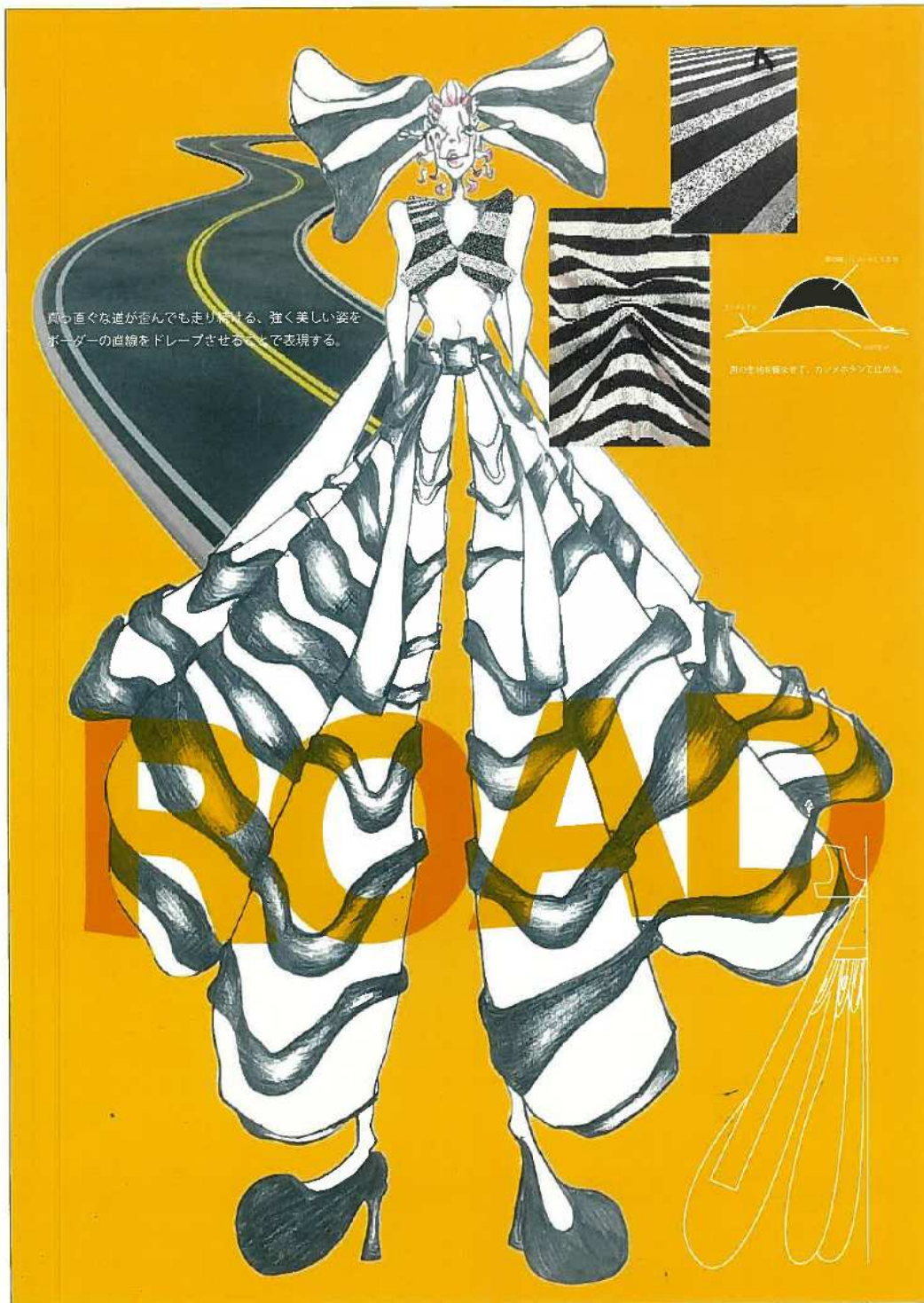
サステイナブルの観点も含めたため、すずらんテープでファーを表現します。自分の個性を出しつつ目立ちすぎたくない気持ちをすずらんテープの迷彩柄と色で表現しています。

### 素材

メッシュ、綿、ウール、すずらんテープ

### アピールポイント

サステイナブルを考え動物の毛ではなく、すずらんテープでファーを表現しました。



## 名前 豊田 愛

### シーン設定

人々は変わっていく世の中に慣れていき、柔軟な気持ちを持てるようになったと思う。服も変化、変形されるものを受け入れられるようになった。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

コロナから緩和され、再びアクティブになった女性のためのドレス。

#### 「どのように」

女性が困難を乗り越えられるように、歪んだ道を通り続けてきた彼女は自信にあふれている。強く美しい姿をボーダーの直線をドレープさせることで表現する。

### 素材

ポリエステル、ナイロン

### アピールポイント

手ぶらで身軽に走れるように、ウエスト部分にはたくさんのポケットを作る。

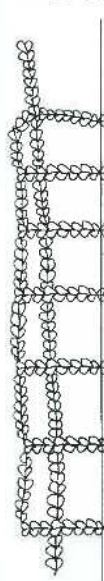
# reincarnation

私が、学校で作成している  
作品は曲線ばかりで凄く廃棄がでます。  
現代のサスティナブルの考えにあわせ  
私は作品を作る上で廃棄をなくそうと思いました。  
インスピレーションの写真のように、  
裁断の際の廃棄の部分を使って  
コロナ禍からの開放感を表現したいと思いました。

インスピレーション



バックスタネル



名前 鳥居 楓月

## シーン設定

コロナがはやり、服を買うことが減って、またサスティナブルの考えからスローファッション等も大事とされ、この中で私ができることを伝えロスを出さない。というのを目標に私の作品ででたロスの部分から用いました。

## デザインのポイント

「どこに」

全体

「どのように」

丸にきりぬいた、周りのゴミをあみ、裁断のさいのゴミでワンピースをつくります。

## 素材

ジャカード、オーガンジー

## アピールポイント

ロスを出さないこと。

## 名前 中屋 七海

### シーン設定

以前のコロナ禍では、皆がみんな他人を警戒して過ごしていたけれど、今は警戒心が薄れ、気軽に話せるようになった。今の世の中で着れる服。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

全体のシルエットをゆったりとさせている。緊張感がほどけた様子を表現。

#### 「どのように」

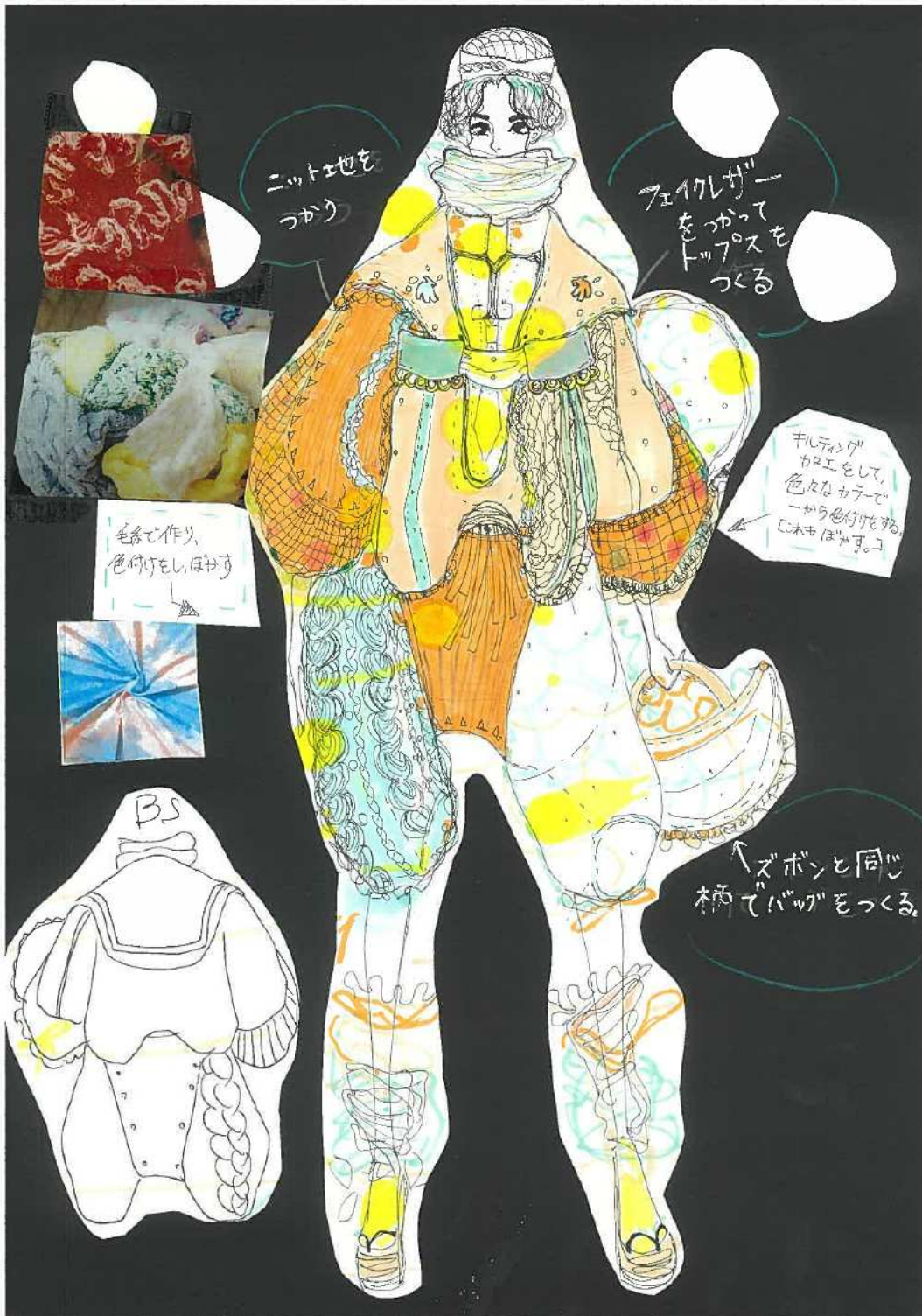
柔らかい布を使い、着る人をリラックスさせ、カラーを明るい色を使い、見ている人も着る人も気持ちが落ち着けるようにデザインしました。毛糸でボトムス部分を作り、色をぼかしてよりおだやかな雰囲気に。

### 素材

コットン、ニット地、毛糸、フェイクレザー、綿ブロード

### アピールポイント

ボトムスをやわらかい生地で作り、歩きやすい服にしました。面白おかしいフォルムにして、みんなが思わず「クスッ」と笑うようなデザインで力士さんをイメージして描きました。





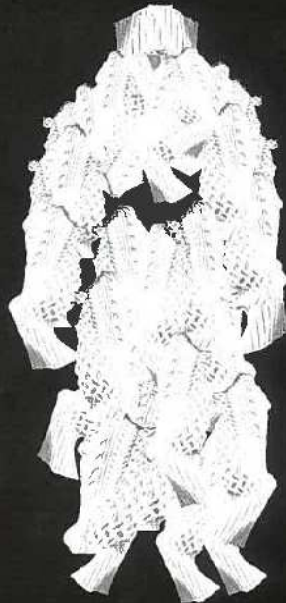
# 繋系

~TSUNAGU~

Material



BS



## 名前 西吉 絢海 シーン設定

コロナ禍が終わりを迎え、日暮里や服屋さんに足を運ぶ自分と同じように服作りをする人やファッションが好きな人が笑顔になっているのを見て、1度お洒落する機会がない状況になっても、それを乗り越えたからこそ何があってもファッションは無くならず、ファッションには私たちが繋ぎ止めてくれる力があることに気付くことができました。

### デザインのポイント 「どこに」

素材をニットにすることで日暮里を中心とするファッションによって生まれる暖かなつながりを表現しました。明るい未来が見えてきてる今でもまだコロナ禍で体の一部のようにってしまったマスクは付けている人が多いことをハイネックにすることで表しました。重なりすぎないように、前を大きく開け、体にフィットするリブスカートにしました。

### 「どのように」

ニットを沢山重ね、繋げることで、ファッションが繋ぎ止めてくれるファッションが好きな人、服作りをする私たちの絆を表現しました。異なる形のニットを重ねることでニットとニットの切り替えの部分が全て異なり、ほつれのあるデザインにして、それぞれが大変な時期を乗り越え、傷つきながらも前に進み、また繋がることができるというストーリーを込めました。

### 素材

ニット

### アピールポイント

ニットは縮んでしまったりでしまったり、ほつれたり長く着ることが難しいと感じたため、着れなくなったニット製品を繋ぎ止めて1つの服にしたいと思いました。ニットを使用することで暖かく優しい空気のある日暮里を表現し、繊維の町から地球に優しいスタイルを提案します。

## Sooting Heart Drumming & Naked Soul Under the Sun

解放的なローゲージニットに  
貝殻、木材、樹脂など有り合わせのものを使って、  
ハンドクラフトのチャームで装飾をする  
パッチワークには民族的な柄の生地を使う  
自然との調和や精神的に自由な状態  
人間の根源的な創造力や  
バイタリティを感じるデザイン



## 名前 野元 嗣英

### シーン設定

コロナ禍中はドリームポップ、シューゲイズ的な色(うすいむらさき、ピンク、ブルーなどの組み合わせ)あいまいで白昼夢のようでバーチャル、現実逃避の雰囲気があったが、これからはパワフルな色合いがトレンド予想される。

### デザインのポイント

「どこに」

ニット、チャーム、パッチワーク

「どのように」

ニットはローゲージで解放的。パッチワークには民族的な絵柄でワイルドでパワフルな雰囲気を与える。チャームには木材、貝など自然物を使用することでオーガニックな印象を与える。

### 素材

リネン、麻、コットン

### アピールポイント

市場性：オーバーオールなので市場性は高い

地球環境への配慮：木材、貝等、自然のものを加工してチャームにする。



## 名前 原 美咲

### シーン設定

新型コロナウイルスの環境で社会のデジタル化が進み、人々は自然から離れています。そこでもう一度、自然との共存、在り方を考え直すファッションをデザインしました。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

“花畑”をイメージして全体に配置された造花は、はぎれを合わせて立体的に製作し環境にも配慮したものづくりをこころがけました。

#### 「どのように」

カラーもヌードカラーやアースカラーでまとめて、自然との調和を目指しました。

### 素材

コットン、ウール、ポリエステル

### アピールポイント

はぎれを合わせて作る造花

花畑  
デジタルから  
解放されて、  
自然との  
共存を...

# ACANTHUS



- ・ギリシャの伝統的なアカンサス模様からインスピレーションを受けた。
- ・花言葉で技巧的、芸術的という意味があるため技巧的、芸術的な装飾と配置にした。
- ・再生可能な再生繊維であるリヨセルを使用しデザイン性も兼ね備えたアレンジ。

B.S

名前 深浦 侃

## シーン設定

自然災害や環境破壊の要因にならない様な再生や自然由来の素材使いに価値を見出す変化や昇華転写のような水を使用しないプリントなどの地球環境に配慮した素材。

## デザインのポイント

### 「どこに」

再生繊維であるリヨセルをスカート、トップスの脇に使用。昇華転写した素材をベースとしてデザインした。

### 「どのように」

アカンサスのもつ「美術、技巧的」という意味を意識したアカンサス模様を刺繍の配置。地球環境に配慮した素材での色の切りかえ。

## 素材

ポリエステル（昇華転写）、リヨセル

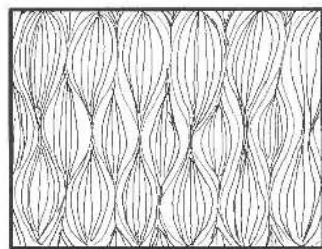
## アピールポイント

自然に循環する繊維や水を使用しないプリントなど、地球環境に配慮された素材を使用しデザイン性も兼ね備えたアレンジ。

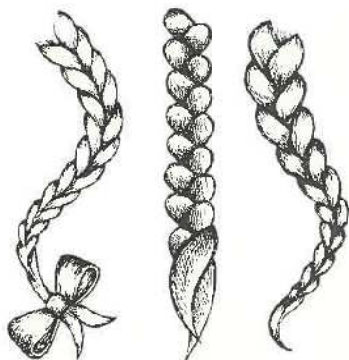
# BRAID

三つ編みに包まれて誰よりも美しくありたい

新型コロナウイルスから解放されつつある今、個性を出しコロナのない新しい時代へ、新たな日常へと歩き出せるようなデザインにしました。



三つ編みに見えるように作ったモチーフは生地にも余りが出ないように作れるデザインにしました。



名前 前田 美雪

## シーン設定

新型コロナウイルスから解放されつつある今、新たな日常へと進むために、自分らしい個性的な服を着て外へ出る女性をイメージしてデザインしました。

## デザインのポイント

「どこに」

ベルト、服

「どのように」

ベルトは1番目に入る黄色にしました。服は三つあみのようなモチーフを何枚も重ね、ボリュームに、誰よりも目立つ、ですが、美しく見えるデザインにしました。

## 素材

綿、チュール

## アピールポイント

生地にも余りが出ないようにモチーフのデザインをしました。

# SD Jeans



名前 増田 聡太

## シーン設定

コロナの影響で、ルームウェアで過ごすことが増え、デニムなどの使用頻度が減り、捨てられる未来を改革します。

## デザインのポイント

「どこに」

ステンドグラスをイメージした切り替え

「どのように」

概存するデニムのアイテムをバラし、再構築します。

## 素材

デニム（ジャケットやパンツ）

## アピールポイント

ジャケットを二連にすることで様々な着こなしを楽しめます。



## Color Your Heart Heart

自然界が作り上げる植物ならではの鮮やかな色彩で着る人の心に彩を。

環境に配慮した再生繊維であるリヨセルの柔らかくサラッとした肌触りの良い特徴をいかし、アウターを脱げば部屋着としても使えるワンピーススタイルを提案します。

B.S

## 名前 溝口 夏菜

### シーン設定

新型コロナウイルスによる長い自粛生活や近年発生した自然災害を経て、ファッションは人を豊かにするものであり、私たちの一番身近にある個人を自由に表現できるものだと改めて感じました。そんな閉鎖的な世の中で心が明るくなるような視覚的効果のあるものや、自然災害や環境破壊の要因にならないような再生や自然由来の素材作りに価値を見出す必要がありました。

### デザインのポイント

#### 「どこに」

ワンピース部分では自然界が作り出す鮮やかな色彩を用いて視覚的効果をもたらす人の心を明るく変化させることができる配色にしました。トップス部分では癒しの効果のあるカモミールとリフレッシュ効果のある百合の花をモチーフにし、白を基調としたデザインに落とし込みました。

#### 「どのように」

昇華転写プリントや刺繍、大部分では再生繊維であるリヨセルを使用。

### 素材

リヨセル、再生ポリエステル系

### アピールポイント

短サイクルの廃棄や大量生産につながる購買を軽減できるよう、リヨセルのような肌触りの良い生地を用い、アウターの着脱で外でも家の中でも快適に過ごすことができるシーンレスなスタイルを提案します。

環境への配慮から、布地の選択においては市場に依然として多く存在するデニムアイテムを素材として使用しました。

このデニムマーメイドスーツは分解し、再構築することをアクセントとしてデザインされました。

下半身はマーメイドスカートにベースを改良され、上下のデザインを合わせるため、流線感のある要素を取り入れ、一部の魚の鱗には風に舞うような感覚があり、視覚的にも違和感があまり強くないと考えられ、個人的には組み合わせも適切だと思います。

「マーメイド  
スーツ」



B・S



## 名前 李文正 シーン設定

現在市場に多く存在しているデニムをリメイクして、新しい一着を作り出すことにより、今ある物を最大限に利用しようと思っています。

### デザインのポイント 「どこに」

全体的に回収したデニムを利用して、マーメイドを参考にしてデザインしました。デニムの生地の色も海と近いと考え、組み合わせたイメージも良いと思っています。

### 「どのように」

マーメイドの配色を考え、ボトムに取り入れデザインし、上半身には魚の鱗をヒントとして、海を表現しようと考えています。

### 素材

デニム (100%)

### アピールポイント

地球環境への配慮。